別紙２

2026年度青年研修「中小企業振興」来日研修構成（案）

注1：案件目標及び到達目標（単元目標）を達成するために必要な研修構成にすること。
注2：【必須】箇所は、原則実施日・講義/研修内容を移動・変更する事はできない。但し、※印箇所は「実施日」のみ変更する事ができる。
注3：【検討】箇所に記載した内容は例示であり、よりよい提案を求めるものとする。

研修日数	講義時間（目安）	講義/研修内容/視察先名	実施形態	概要	ねらい	役割分担			単元目標との関連性
						講師他（コメント・指導を含む）	進行管理	発表者	
来日前	0.5時間	プログラム・オリエンテーション	講義	研修員に研修コースの概要・プログラム、ルールなどを理解させる。参加者・日本側関係者の紹介を行う。	研修をスムーズに行うために必要な情報やルールを説明する。参加者間および日本側関係者との相互理解を図る。	委託者（JICA東京）	委託者（JICA東京）		
来日前	1時間	日本の中小企業振興の概要	講義	日本における中小企業振興の概要を説明する。	来日研修でどのような学びが得られるか理解し、カントリーレポート作成に活かす。	委託者（JICA東京）	委託者（JICA東京）		
来日前	0.5時間	カントリーレポート作成について	講義	カントリーレポート作成に関する留意事項等を説明する。	カントリーレポート作成時の留意事項を理解する。	委託者（JICA東京）	委託者（JICA東京）		
1	0.5時間	【必須】ブリーフィング	－	受入時事務手続き、滞在諸手当の支給手続き等について説明する。	本邦滞在における基本的な事項を理解させる。	委託者（JICA東京）	委託者（JICA東京）		
1	0.5時間	【必須】プログラム・オリエンテーション	講義	研修員に研修コースの概要・プログラム、ルールなどを再度説明し理解させる。参加者・日本側関係者の紹介を行う。	研修をスムーズに行うために必要な情報やルールを説明する。参加者間および日本側関係者との相互理解を図る。	受託者、委託者（JICA東京）	委託者（JICA東京）		
1 2	5時間	【必須】カントリーレポート	発表・討議	各国が直面している中小企業振興の課題とデジタル技術に関する取り組み事例を整理する	他の研修員との質疑応答・意見交換を通して、発表者間の情報交換及び具体的なアイディアや知見を得る。	受託者、委託者（JICA東京）	受託者	研修員	1
2	1時間	※【必須】日本の中小企業支援について	講義	中小企業振興に関わる省庁の講義。日本における中小企業支援について学ぶ。	日本における中小企業支援について理解し、中小企業振興を促進するための実行可能なアクションプランを作成する上での情報を得る。	委託者（JICA東京）	受託者		2
2	1時間	※【必須】「中南米諸国」と日本の制度等の比較	討議	中小企業振興に関わる省庁の若手職員とのディスカッション。	ディスカッションを通して日本と中南米諸国の制度等を比較し、日本と中南米諸国の特徴を整理し、互いに理解を深める。	委託者（JICA東京）	受託者		2
3	1.5時間	※【必須】デジタル技術の活用を通じた中小企業振興支援の取組	講義	日本のデジタル技術の活用を通じた中小企業振興支援の取組について学ぶ。	日本のデジタル技術の活用を通じた中小企業振興支援の取組について学び、中小企業振興を促進するための実行可能なアクションプランを作成する上での情報を得る。	委託者（JICA東京）	受託者		2　又は　4
3	3時間	【検討】支援機関等からの支援を活用した中小企業への視察	講義	日本国内で取り組まれている中小企業支援の現場を視察する。	日本のデジタル技術の活用を通じた中小企業振興支援の取組への学びを深め、中小企業振興を促進するための実行可能なアクションプランを作成する上での情報を得る。	受託者	受託者		2　又は　4
4	1.5時間	【検討】アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク等）	討議	研修の学びを振り返り、中小企業振興を促進するための実行可能なアクションプランについて意見交換する。	中小企業振興を促進するための実行可能なアクションプランを作成について、研修員同士又は外部講師等を交えて検討する。	受託者	受託者		2　又は　4
4	1.5時間	【検討】中小企業の情報セキュリティ対策又はAI技術導入事例に関する講義	討議	「背伸びしない・誰でも取り組める DX」を促進する上で必要なセキュリティ対策やAI技術について学ぶ。	セキュリティ対策やAI技術に関する概要を学び、中小企業振興を促進するための実行可能なアクションプランを作成する上での情報を得る。	受託者	受託者		2　又は　4
4	2～3時間	※【必須】意見交換会	討議	国際人材ネットワーク関係者等と意見交換会する。	国際人材ネットワーク関係者等との意見交換・交流を通じて日本への理解と相互理解を深めるとともに、日本から見た中南米の可能性について理解を深める。	委託者（JICA東京）	委託者（JICA東京）		3

5		【検討】県外視察	視察	地方自治体における中小企業振興・段階的なデジタル技術の活用促進施策・行政サービスの効率化・高度化に向けた取組等に関する講義・視察。	中小企業振興を促進するための実行可能なアクションプランを作成する上での情報を得る。	受託者	受託者		2　又は　4
6		【検討】県外視察	視察	同上	同上	受託者	受託者		2　又は　4
7		【検討】県外視察	視察	同上	同上	受託者	受託者		2　又は　4
8	6時間	【必須】アクションプラン作成	-	研修を通じて得た経験・知識を基に、中小企業振興を促進するための実行可能なアクションプランを作成する。	他の研修員との質疑応答・意見交換を行い、中小企業振興を促進するための実行可能なアクションプランを作成する。	受託者	受託者		4
9	3時間	【必須】アクションプラン発表	討議	研修を通じて得た経験・知識を基に、中小企業振興を促進するための実行可能なアクションプランを発表する。	中小企業振興を促進するための実行可能なアクションプランを発表し、他の研修員や研修関係者との質疑応答・意見交換を行う。	受託者	受託者	研修員	4
9	1.0時間	【必須】評価会	-	―	―	受託者、委託者（JICA東京）	委託者（JICA東京）		
9	1.0時間	【必須】閉講式	-	―	―	受託者、委託者（JICA東京）	委託者（JICA東京）		
週末	-	ホームステイ・ホームビジット	-	ホームステイ・ホームビジット	地域住民等との意見交換・交流を通じて日本への理解と相互理解を深める。	委託者（JICA東京）	委託者（JICA東京）		3